

2021 年 7 月 9 日

新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の方法について

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大防止のため、現在福知山市をはじめ各地方自治体でワクチン接種が実施されています。

今回、本学を通じた職域接種を含むワクチン接種の方法についてお知らせします。

＜ワクチン接種の方法＞

学生の皆さんは、以下の①～③の方法でワクチン接種を受けられます。

①、②で接種する場合は、各自治体からの案内を十分確認し、接種するようにして下さい。

③は職域接種です。③で接種を希望する場合は、本学学生担当への申し込みが必須となりますので、以下の案内を十分確認の上、申し込みするようにして下さい。

なお、ワクチン接種を希望するか否かにつきましては、あくまでもみなさま一人ひとりが判断するものです。

①福知山市での接種

【住民票を移している学生】

福知山市から「新型コロナウイルスワクチン接種のご案内」が届きます。39 歳以下の方は、7 月 7 日（水）に接種券が発送され、8 月 2 日（月）からワクチン接種の予約が可能になります。

予約方法等詳細は、上記「ご案内」を十分確認し、ワクチン接種を行って下さい。

【住民票を移していない学生】

ワクチン接種は、原則、住民票上の住所地で受けることとなっています。ただし、「遠隔地から下宿している学生」は、接種券が届いた後に福知山市でも接種することができます。住民票所在地以外での接種の申請手続きは、以下の福知山市 HP 等で確認して下さい。

<https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/site/coronavirus/34488.html>

新型コロナウイルスワクチン接種対策チーム 電話：0773-45-8566

②各自住民票を有している自治体での接種（福知山市を除く）

福知山市同様、各出身自治体でもワクチン接種が行われます。各自治体からのご案内を十分確認し、ワクチン接種を行って下さい。

③職域接種（京都大学医学部附属病院での接種）

今回、（公財）大学コンソーシアム京都から、医療系学部を有していない大学等を対象にワクチンの職域接種実施のご案内をいただきました。本学も参画し、以下の条件等で接

種希望者を取り纏めますので、内容を十分確認の上、お申し込み下さい。

【接種条件】

- ・会場は、京都市左京区にある「京都大学医学部附属病院」となります。
本学発の無料バスを運行する予定です。また、現地集合も可です（交通費は自己負担です）。接種当日、本学担当職員が現地で受付を行います。
- ・ワクチンは2回接種します。

接種日は、1回目が7月25日（日）午前10時45分会場集合、2回目が8月22日（日）午前10時45分会場集合となり、一切変更はできません。両日とも、京都大学医学部附属病院での接種が必須となります。

両接種日とも、本学に割り当てられた時間が定められており、11時20分には終了する予定です。

- ・今回の京都大学付属病院での接種は「モデルナ社」のワクチンであり、各自治体で摂取する「ファイザー社」のワクチンとは異なっています。
従って、1回目は福知山市や他の各自治体、2回目は京都大学医学部附属病院での接種、ということとはできません。その逆もできませんのでご留意下さい。（モデルナ社ワクチンは次頁以降の資料を必ず確認してください。）

- ・京都大学医学部附属病院で接種する場合は、自治体から接種券が届いていなくても接種ができます。

接種日までに「接種券」がお手元に届いた場合は、必ず学生担当者まで提出してください。

「接種券」が接種日までにお手元に届いていない場合は、「接種券」が手元に届いた後に速やかに学生担当まで提出してください。

【申し込み先・期限】

以下の学生担当まで、メールにてお申し込み下さい。

件名に「京都大学ワクチン接種希望」と記載し、お申し込み下さい。

申し込み期限は、7月9日（金）～7月13日（火）正午までとし、厳守して下さい。

接種日当日の集合時間や場所等詳細は、希望者に対して、改めてご案内します。

学生担当 Mail：student■fukuchiyama.ac.jp

ただし、■は@と読み替えること。

以 上

新型コロナワクチン予防接種についての説明書

武田／モデルナ社
ワクチン用
(2021 年 6 月)

新型コロナウイルスワクチン接種について

本ワクチンの接種は国と地方自治体による新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）ワクチン接種事業の一環として行われます。本ワクチンの接種は公費対象となり、希望者は無料で接種可能です。なお、本ワクチンは 18 歳以上の方が対象です。

ワクチンの効果と投与方法

今回接種するワクチンは武田／モデルナ社製のワクチンです。新型コロナウイルス感染症の発症を予防します。

本ワクチンの接種を受けた人は、受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。（発症予防効果は約 94%と報告されています。）

販売名	COVID-19 ワクチンモデルナ筋注 [®]
効能・効果	SARS-CoV-2 による感染症の予防
接種回数・間隔	2 回（通常、4 週間の間隔） ※筋肉内に接種
接種対象	18 歳以上（18 歳未満の人に対する有効性・安全性はまだ明らかになっていません。）
接種量	1 回 0.5 mL を合計 2 回

- 1 回目の接種後、通常、4 週間の間隔で 2 回目の接種を受けてください。（接種後 4 週間を超えた場合は、できるだけ速やかに 2 回目の接種を受けてください。）
- 1 回目に本ワクチンを接種した場合は、2 回目も必ず本ワクチンの接種を受けてください。
- 臨床試験において、本ワクチンの接種で十分な免疫が確認されたのは、2 回目の接種を受けてから 14 日以降です。現時点では感染予防効果は明らかになっていません。ワクチン接種にかかわらず、適切な感染防止策を行う必要があります。

予防接種を受けることができない人

下記にあてはまる方は本ワクチンを接種できません。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 明らかに発熱している人（※1）
- 重い急性疾患にかかっている人
- 本ワクチンの成分に対し重度の過敏症（※2）の既往歴のある人
- 上記以外で、予防接種を受けることが不適当な状態にある人

（※1）明らかな発熱とは通常 37.5℃ 以上を指します。ただし、37.5℃ を下回る場合も平時の体温を鑑みて発熱と判断される場合はこの限りではありません。

（※2）アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

予防接種を受けるに当たり注意が必要な人

下記にあてはまる方は本ワクチンの接種について、注意が必要です。該当すると思われる場合は、必ず接種前の診察時に医師へ伝えてください。

- 抗凝固療法を受けている人、血小板減少症または凝固障害のある人
- 過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- 心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- 過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- 過去にけいれんを起こしたことがある人
- 本ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人

（うらへ続く）

妊娠中、又は妊娠している可能性がある人、授乳されている人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

本剤には、これまでのワクチンでは使用されたことのない添加剤が含まれています。過去に、薬剤で過敏症やアレルギーを起こしたことがある人は、接種前の診察時に必ず医師へ伝えてください。

接種を受けた後の注意点

- 本ワクチンの接種を受けた後、15 分以上（過去にアナフィラキシーを含む重いアレルギー症状を起こしたことがある方や、気分が悪くなったり、失神等を起こしたりしたことがある方は 30 分以上）、接種を受けた施設でお待ちいただき、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。（急に起こる副反応に対応できます。）
- 注射した部分は清潔に保つようにし、接種当日の入浴は問題ありませんが、注射した部分はこすらないようにしてください。
- 通常の生活は問題ありませんが、激しい運動や過度の飲酒等は控えてください。

副反応について

主な副反応は、注射した部分の痛み（※）、頭痛、関節や筋肉の痛み、疲労、寒気、発熱等があります。また、まれに起こる重大な副反応として、ショックやアナフィラキシーがあります。なお、本ワクチンは、新しい種類のワクチンのため、これまでに明らかになっていない症状が出る可能性があります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種医あるいはかかりつけ医に相談しましょう。

（※）接種直後よりも翌日に痛みを感じる方が多いです。接種後 1 週間程度経ってから、痛みや腫れなどが起きることもあります。

予防接種健康被害救済制度について

予防接種では健康被害（病気になったり障害が残ったりすること）が起こることがあります。極めてまれではあるものの、なくすことができないことから、救済制度が設けられています。

新型コロナワクチンの予防接種によって健康被害が生じた場合にも、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）が受けられます。申請に必要な手続きなどについては、住民票がある市町村にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症について

SARS-CoV-2 による感染症が発症すると、熱や咳など風邪によく似た症状がみられます。軽症のまま治癒する人も多い一方、重症化すると、呼吸困難などの肺炎の症状が悪化し、死に至る場合もあります。

今回接種する新型コロナウイルスワクチン（武田／モデルナ社製のワクチン）の特徴

本剤はメッセンジャーRNA（mRNA）ワクチンであり、SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質（ウイルスがヒトの細胞へ侵入するために必要なタンパク質）の設計図となる mRNA を脂質の膜に包んだ製剤です。本剤接種により mRNA がヒトの細胞内に取り込まれると、この mRNA を基に細胞内でウイルスのスパイクタンパク質が産生され、スパイクタンパク質に対する中和抗体産生及び細胞性免疫応答が誘導されることで、SARS-CoV-2 による感染症の予防ができると考えられています。

本剤には、下記の成分が含まれています。

有効成分	◇ CX-024414（ヒトの細胞膜に結合する働きを持つスパイクタンパク質の全長体をコードする mRNA）
添加物	◇ SM-102：ヘプタデカン-9-イル 8-((2-ヒドロキシエチル)(6-オキソ-6-(ウンデシルオキシ)ヘキシル)アミノ)オクタン酸エステル ◇ コレステロール ◇ DSPC：1,2-ジステアロイル-sn-グリセロ-3-ホスホコリン ◇ 1,2-ジミリストイル-rac-グリセロ-3-メチルポリオキシエチレン（PEG2000-DMG） ◇ トロメタモール ◇ トロメタモール塩酸塩 ◇ 氷酢酸 ◇ 酢酸ナトリウム水和物 ◇ 精製白糖

新型コロナワクチンの詳しい情報については、厚生労働省のホームページをご覧ください。

厚労 コロナ ワクチン

検索

ホームページをご覧になれない場合は、お住まいの市町村等にご相談ください。

